栃木市立小野寺小学校　学校だより

三杉川

令和４年５月号　　校長　江田慶久

５月もよろしくお願いします



日頃の授業のようすを見ていて、**「啐啄同時」**という言葉がぴったりだなと思っています。「そったくどうじ」と読みますが、あらためて意味を調べてみると､次のようになっています。

またとない好機のこと。また、学ぼうとする者と教え導く者の息が合って、相通じること。鳥のひなが卵から出ようと鳴く声と母鳥が外から殻をつつくのが同時であるという意から。禅宗で、師匠と弟子の呼吸が一致するときに、悟りが得られるということから。

今は、「個別最適な学び」や「協働的な学び」という表現で分かるように、授業も教える側よりも学ぶ側が主語になるので、教え導く者とか師匠という表現は適さないかもしれません。しかしながら、本校の教職員も、子どもたちの学びの手助けになるよう、毎時間毎時間工夫を重ねています。また、子どもたちも、新学年での学びを楽しみながら頑張っています。（今も、校長室の窓の向こう側では、２年生が生活科の学習で草花の観察を頑張っています(^▽^)/）





小野寺っ子の「知」の成長が益々楽しみです。





敷地内に咲く花々にもいやされています。(4/25)

＜授業参観・PTA 総会・学級懇談会＞

４月２２日（金）授業参観・PTA 総会・学級懇談会が行われました。保護者の皆様が一同に会しての総会は、小野寺小学校“初”でした。

コロナ禍の開催ということで、多少なりとも開催することに懸念もありましたが、皆様と直接お会いすることができ、ありがたい限りでした。子どもたちも、おうちの方が来てくださったことに大喜びでした。お世話になりました。



＜避難訓練＞

２１日、避難訓練がありました。子どもたちは、それぞれ入学・進級し、教室が変わりました。火災が起きた時の、新しい教室からの避難経路と避難方法の確認です。

今回は、理科室出火の想定で訓練を行いました。ハンカチで口を覆い、「おかしも（**お**さない・**か**けない・**し**ゃべらない・**も**どらない）」または、「おかしもち（**ち**かづかない）」の合言葉を守り、短い時間で避難できました。災害は、いつどこで起きるか分かりません。ご家庭でも、災害時の避難について話題にしていただければと思います。



＜全国学力・とちぎっ子学習状況調査＞

文部科学省が日本全国の小６、中３を対象に、学力・学習状況の調査を目的として行う全国学力学習状況調査と本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、本県児童生徒の学力向上のために行うとちぎっ子学習状況調査（４・５年生）が19日に実施されました。特に、全国学調については、問題が新聞に掲載されたので、話題になったご家庭もあったのではないでしょうか。落ち着いた環境の中で、学びに向かう集団づくりが実現されている本校では、児童個々の学力向上も大いに期待されるところです。

＜初めての共遊＞



教室で自己紹介をしてから、外に出てどの班も工夫をして楽しく遊びました。

このように、いろいろな場面で、上級生の優しい気持ちが伝わってきます。下級生も上級生の優しい気持ちに包まれて、穏やかに学校生活を送っています。上級生ありがとうございます。

＜ジョナタン先生の授業＞



３年生、元気いっぱい頑張っています。



校長室脇のバラも大輪の花を咲かせています(5/6)

＜５年生の理科＞



ひょうたんの苗つくりが始まりました。
種は、6年生が昨年採った種を使いました。



＜学校運営協議会＞

２７日、今年度の第１回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、地域住民等の学校運営への参画並びに支援及び協力を促進し、地域とともにある学校づくりを進めることにより、学校と地域住民等との間の信頼関係を深め、学校運営の改善や児童の健全育成に取り組むことを目的としています。

（栃木市立小中学校運営協議会規則）

今回は、委嘱状交付、会長・副会長の選出、校長による学校経営方針の説明と承認、意見交換、授業参観等が行われました。意見交換では、コロナ禍における児童の活動のあり方、小野寺の会（仮称）発足について、校庭のひび割れ等について意見が交わされました。



＜お知らせ＞

ホームページにおいて、学校の教育活動・子どもたちの活動の様子等をタイムリーに紹介しております。ぜひご覧ください。

ホームページアドレス
https://tm2.tcn.ed.jp/onodera-es/